



# 公民館報

# くしもと

# No.111

(2023/9/1)

編集・発行：教育課

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



## 表紙文化財紹介

# 河内祭の御舟行事 (古座・古田)

国指定文化財 民俗文化財(無形民俗文化財)  
平成11年12月21日指定

今月号の表紙は河内祭の御舟行事です。源平合戦の当時、当地水軍が源氏に味方し、その凱旋の式を河内神社で行ったのが始まりといわれ、御舟の華麗さと独特の謡い方で知られています。鯨舟を祭礼船に仕立てた御舟は「河内大明神」の幟旗、彩られた傘、色短冊が付けられた笹、吹き流しなどで華やかに飾られます。御舟の舳先には、江戸時代の古座捕鯨方のシンボルであった卍の紋章が付けられています。

# 町民総合展開催

## ～出展作品募集～

今年も町教育委員会主催の町民総合展を開催します。

第19回目となるこの総合展は、串本町の文化・芸術の祭典であり、毎年様々なジャンルの工夫をこらした作品が多く出品され、鑑賞者を楽しませてくれています。

応募要領は次のとおりです。多くの出品とご協力をよろしくお願いいたします。

する人

③串本町内のグループに所属する人

### ■会場及び部門

○町立体育館

生花、盆栽、工芸、

俳画、俳句、

手芸、書ほか

○町文化センター

絵画、写真ほか



### ■趣旨

町民の美術に関する愛好心と鑑賞力を啓発し、美術作品の創作意欲を盛んにするとともに町の文化向上、発展に資する。

### ■出品手続

①所定の出品申込書に記入の上、10月4日（水）午後5時までに教育課または町文化センターに申し込んでください。

### ■日程

11月10日（金）～12日（日）  
午前9時～午後4時30分  
（最終日は午後4時まで）

### ■その他

①書は表装共高さ2.1m以内、幅は全紙までとします。

②絵画は100号以内とし、額装とします。（申込書に号数記入）

③立体作品（生花除く）は重量50kg以下とし、間口、奥行き共1m以

①串本町に住所を置く人  
②串本町に勤務する人、または在学

内とします。

④生花は、間口、奥行き共1m以内とします。

⑤写真は、パネル張平面作品または額装とし、単写真は四つ切りから全紙まで、組写真は縦横1m以内とします。

⑥パッチワークは、1m以内とします。なお、大きい作品は折り畳んで展示します。

### ■点数

○原則1人2点以内（但し、部門別とし、俳句部門は1点とします）

○なお、展示スペースの都合により、1人当たりの作品点数が増減する場合があります。

### ■搬入

○11月9日（木）午後1時から午後7時までの間に会場に搬入してください。

※原則として時間外の受付は行いません。当日都合の悪い場合は、前日に教育課までご持参ください。詳しくは、教育課にご相談ください。

### ■搬出

11月12日（日）午後4時から会場より搬出してください。

### ■その他

①搬入作業は慎重に取り扱いますが、不慮の損傷についてはその責を負いません。

②陳列等については、主催者及び運営委員に一任してください。

③出品申込状況により、展示場所を変更する場合があります。

④規定の期日に搬出されない作品は、処分することがあります。

⑤その他、運営上疑義が生じた場合は、運営委員会において協議の上決定します。



昨年度の町民総合展の様子

# 「串本町の戦争遺跡」冊子を配布しています

町内には、まだいくつかの戦争時の軍事施設跡や地下壕などが残されています。町教育委員会では、これらの施設跡や空襲被害地を「戦争遺跡」として保存し、戦争の怖さ・愚かさを語り継ぐ資料とするために、平成23年度から戦争遺跡に標柱を設置してきました。

令和2年度に町内戦争遺跡についての情報をまとめた冊子を作成いたしました。この冊子では、標柱設置場所16ヶ所を地図や写真で解説するほか、町内の戦没者数や空襲被害史等の情報をまとめています。

希望される方には町教育委員会で配布しておりますので、お問合せください。



- 編集 串本町戦跡標柱設置検討委員会  
第五福竜丸建造の地平和の歴史展実行委員会
- 発行 串本町教育委員会
- 配布・お問合せ 串本町サンゴ台690-5  
串本町教育委員会  
社会教育グループ  
電話：0735-67-7260

## 昭和二〇年の出来事

### 「串本のあゆみ」より抜粋

一月一九日 串本午後二時二分、二五〇t爆弾八発町内に落下。うち三個は国民学校(現在の串本小学校)へ、あと五個は西区へ。死者一名。家屋倒壊など。

この頃から敵機は本地方の上空を殆ど毎日の如く午後一時から二時頃通過北上して、名古屋或いは京阪地区へ向かっていた。町民は定期便と呼んでいたが、国民学校ではこの危険時間をさけて、午後の始業時刻を一時間ずらして午後二時より授業開始と決定した。昼食に帰宅の児童は空襲警報にはいると引き続き家庭で待機する事にしていった。

五月一七日 午前三時頃から四時頃、焼夷弾の襲撃で袋区が全焼。(家屋四九戸、船五隻)

国民学校の裏山にも多く落下、山火事を起こしたが消防団必死の消火で事なきを得た。

六月二二日 潮岬に投弾。爆風により校舎(潮岬小学校)窓ガラス、壁等破損。死亡者一八名(兵役五名、一般住民一三名)で、被害は児童にも及んだ。  
七月に入り米機艦載機による機銃掃射が頻繁に。

掃射が頻繁に。

七月二四日 午前六時二〇分 潮岬灯台、米艦載機(グラマン)十数機の一編隊により猛烈な銃撃を受ける。灯塔内の油筒に命中、火災発生し、灯台長が火傷を負った。

灯台には五月から八月にかけて、空襲銃撃五回、艦砲射撃一回あり、レンズ、灯塔その他附属建物、備品の被害は甚大であった。

七月二五日 午前二時一五分頃より、串本・潮岬地区が約三四分間、敵巡洋艦による艦砲射撃を受ける。串本の損害は、死者六名、家屋全壊二、半壊三。

八月一日 最後の爆撃。南地区の中央部に小型爆弾一三発投下。夜間であったため、多数の死者を出した。死者一四名、家屋全壊二四、半壊七。

八月一五日 玉音放送。十四日夜から翌朝にかけてラジオは「十五日正午から重大放送があること」を何度も放送。

八月二〇日 灯火管制が解除。電灯の笠にかぶせた黒い布をとり除き、夜になったら何時でも電灯がつけられる明るさの有難さを、本当に世界中明るくなった様な気分がした。

# 大人のための おはなし会

## 10月28日(土)

串本町図書館では読書週間にあわせて「大人のためのおはなし会」を開催します。活字を読むだけでなく、ゆったりとお話や読み聞かせを楽しんでみませんか？どうぞお気軽にご参加ください。



- 時間：午前10時30分より
- 場所：串本町図書館
- お問い合わせ：串本町図書館  
【62-4653】
- 主催：串本町図書館
- 協力：ぶっくらぶ串本

## 第19回

# 囲碁・将棋大会

日 時 令和5年9月17日(日)  
受付開始 午前9時00分  
対局開始 午前9時30分

場 所 串本町文化センター  
主 催 串本町教育委員会  
部 門 囲碁の部A級・B級  
将棋の部A級・B級



参加資格 串本町在住者・出身者・勤務者  
町内小・中・高校生

■お問い合わせ先 串本町教育委員会  
教育課社会教育グループ  
TEL.0735-67-7260



## 地域ユースユニテリアリー 養成キャンプ

8月6日～7日の2日間、和歌山県立潮岬青少年の家で地域ユースジュニアリーダー養成キャンプ(和歌山県、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催・町教育委員会後援)が開催されました。

本キャンプは、各地域で活動している小学校5年から中学3年までの子どもたちが一堂に集い、リーダーとしての知識や自覚、技能を身につけるとともに、相互の情報交換と親睦を深め、今後の活動を発展させることを目的としています。

串本町内からは小学校5・6年生9名と、リーダーとして高校生1名が参加し、野外炊事、キャンプファイヤー、フォトフレーム作りを体験しました。



## 少年メッセージ2023 和歌山県大会

7月29日紀美野町文化センターにて、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催による「少年メッセージ2023和歌山県大会」が開催され、先に行われた東牟婁地方予選会で優秀賞を獲得した串本中3年の下地姫愛さんが東牟婁地方代表として出場しました。

この大会は、中学生が日頃から感じていること、考えていることを発表することにより、同世代の青少年が互いに理解し合い、大人が中学生の考え方を知り、郷土の未来を担う若い世代の育成を図ることを目的とし、開催したものです。

当日は、県内各地から応募のあった9,269作品の中から各地方予選会で代表として選ばれた中学生17名が発表を行い、審査員の評価を受けました。

金賞には「理解するということ」を発表した丹生中2年の川口瑞月さんが選ばれ、「奇跡」を発表した下地さんは入賞に選ばれました。



# 第19回 町民大運動会

## 10月29日(日)

9時開始 / 12時終了予定

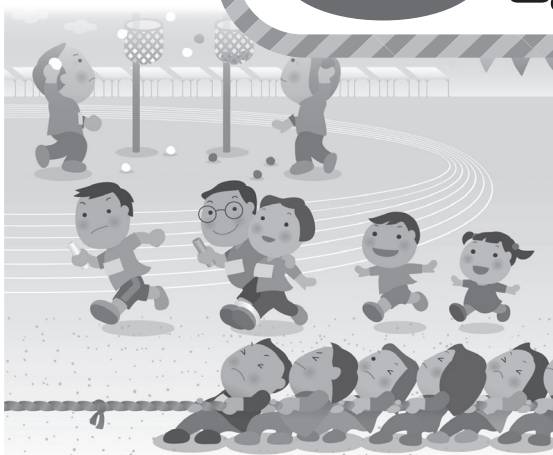
場所 串本町総合運動公園 (多目的グラウンド)

※雨天の場合は中止

【主催】 串本町・串本町教育委員会

【お問合せ】 教育課社会教育グループ

TEL.0735-67-7260



## 第16回 串本町卓球大会

7月16日串本町立体育館において、第16回串本町卓球大会を開催しました。4年ぶりの大会に62名が参加、ダブルス参加者は34組でした。大会結果は次のとおりです。

### 【大会結果】

#### ■ シングルス2部

優勝 太田大地  
準優勝 中山貴稔  
3位 山本太

#### ■ シングルス3部

優勝 前川洋子  
準優勝 松岡明代  
3位 川端千穂

#### ■ ダブルス2部

優勝 中江大貴・太田大地ペア  
準優勝 中山貴稔・田中智章ペア

#### ■ ダブルス3部

優勝 前川洋子・山下咲子ペア  
準優勝 大末なち子・松岡明代ペア

大会入賞者の皆さん



# 古座小の願いを乗せたミニ御舟

7月13日串本町役場で、古座小学校児童が「ミニ御舟」の飾りつけを行い、7月末まで展示をしました。

この船は河内神社例祭「河内祭」で用いる御船の模型になります。

4年ぶりに開催される河内祭を盛り上げたいと、6年生が中心となり飾りつけを行いました。



御舟に飾った笹飾りは、古座小学校の七夕集会時のものです。

当日は6年生が教職員と一緒に、以前の写真を参考にしながら、飾り付けを頑張っていました。



児童たちが楽しみにしていた河内祭は、7月22日・23日に盛大に開催されました。



河内祭当日の様子

## 第5回 串本町短歌大会 参加者募集

串本町および近隣市町村等の同好者が結社を超えて合同で行う大会です。ふるって出詠ください。

■主催：串本町短歌愛好会・串本町教育委員会

■出詠方法：

- ①未発表作品一首（自由題）
- ②作品はハガキ（原稿用紙も可）へ楷書で記入してください。
- ③投稿後、作品の訂正や差し替えはできません。
- ④かなづかい新・旧を明示してください。
- ⑤住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記してください。（投稿ハガキの右半分に詠草を、左半分に氏名等をご記入ください。）

⑥出詠料無料

■作品受付期間：

令和5年9月1日（金）～10月31日（火）

窓口での受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで※郵送が窓口への提出のみ受け付けます。土曜日・日曜日・祝祭日の受け付けはできませんのでご注意ください。

※期限内必着。上記の期間以外は受付しません。

■送付先：〒649-3592

串本町サンゴ台690番地5  
串本町役場 教育課  
社会教育グループ 短歌大会事務局

※原稿用紙で出詠される場合、投稿用紙は折っても構いません。

■選者：岸田 正幸 氏

（毎日新聞 紀州歌壇選者）

■賞：特選・秀作・佳作を用意しています。

■講評会：令和6年2月13日（火）

午後1時30分～

場所 串本町文化センター

■その他：出詠者には作品一覧表と、選者からの寸評を講評会でお渡しします。

■問合わせ先：串本町教育課 社会教育グループ

電話：0735-67-7260

FAX：0735-67-7326



# 灯台

潮岬「望楼の芝」、  
子供の頃の思い出が  
詰まった地である。

潮岬に母と共に移り住んで七年が過ぎた。昨年の秋に母を見送り、独り居となって初めての年明けに、ふと「芝へ行ってみよう」という気になった。思い立ったが吉日、三月末までは無料と聞いていたコミュニティバスを利用させてもらい、「望楼の芝」へ出かけることにした。

乗客は数名。大きなリュックを持った観光客らしき人も、地元の人も居た。子供の頃にそう呼んでいた「木のトンネル」を抜けると灯台前。そこでリュックを背負った男性が一人、「ありがとう」と言いながら降りた。子供達が運転手にお礼を言っただけで降りていく姿はよく見かけるが、大人の「ありがとう」には少し驚いた。バスの旅、約五分。観光タワーの前に到着。私も「ありがとうございました」と声を掛けながらバスを降りた。

穏やかな  
冬晴れの空  
が広がり、  
風は少し冷  
たいが気持ち  
がいい。  
今は観光シ



ーズンではないためか、まだコロナの影響もあるのか人影はまばらで、観光タワーも閑散としていた。久々にタワーに昇ってみようかとチケットを買い、セルフのエレベーターで七階の展望台まで直行し、冬枯れの芝で連風を揚げる家族連れや、小さく見える白い灯台など、眼下の景色を一人占めしていた。

「本当に水平線が丸く見えるのね。」突然後ろの方から声がした。振り向くと、私と同輩くらいの女性がシャッターを切っていた。思わず「どちらからですか？」と聞くと、「横浜です」と応えてくれた。かたわらに男性が立っていて、最初はご夫婦かと思ったが、どうやら親子らしい二人連れ。タクシーの運転手さんに勧められて、予定にはなかった潮岬まで足を延ばしたとのこと。せっかくなら来たのだから、この景色を堪能していつて下さいという思いを伝えて、私は先に一階に下りた。少し休もうかと椅子に座り、『海難1890』の映像が流れていたのを見てみると、展望台で会った人達も入ってきた。そこで待っていた案内役の運転手さんらしき人が、串本とトルコとの関係について説明し始めると、女性は感慨深げにエルトルール号の模型に見入っている。「また、ここで出会えるとは・・・」

トルコに行く前に本で読んだことがある。こんな話は子供達に伝えたいですね。」

誰に言うともなく、つぶやくように話しながら、エルトルール号の模型を見つめたまま立っていた。

「私は行っていいのですが、母はトルコに行つたことがあるので。」

母親に付き添うように立っていた男性が、話してくれた。旅慣れた人のように見受けられたが、トルコ旅行のことと重ねて思いに浸っているのかもしれないと思いつつ、一足先に外に出た。

見慣れた景色の中に身を置くと、子供の頃の記憶が少しずつ蘇ってくる。幼稚園児の頃の親子遠足、中学三年間恒例の春の遠足も行き先は潮岬「望楼の芝」だった。特に印象深いのは中学三年の春の遠足。学校を出発してゴールの潮岬に向かって、十数キロをひたすら歩く。あの頃は周遊道路が未完成で、道路を歩いたり、途中海の方に下りて歩いたり、また道に戻ったりを繰り返して、やっとたどり着いて弁当を開く。食べ終わるとすぐに集合の合図があり、



帰路のバスに乗り込んだ。三年間の中でも特に鮮明に記憶に残っている「歩いた、歩いた」の遠足だった。また、夏休みなどに従兄弟達と、父によく連れてこられた。当時は貝細工などの土産物売店がいくつか並び、タワーからは招客を促す「エレベーターで・・・」というおじさんの声が流れ、時おり串本節も聞こえていた。懐かしい日々あれやこれやを思い浮かべながら「潮風の休憩所」から海を眺めていると、不意に拍手の音がした。先ほどの女性だ。少し波立つ冬の大海原に向かって拍手を繰り返す。マスクはしていても満面の笑みで感動している様子が伝わってくる。水平線上を船が行き交う目の前の景色に向かって拍手を送っていた。再び驚かされた。多くの言葉を交わしたわけでもなく、束の間の一期一会ではあったが、私の中にもう一つ「望楼の芝」の思い出が増えた日となった。



村詰 眞紀子 編集委員

# 第23回 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

**大会日時** 令和6年2月11日(日) 午前11時スタート

**場 所** 開始式 紀三井寺公園陸上競技場  
 コース スタート 紀三井寺公園陸上競技場  
 ゴール 和歌山県庁前  
 (10区間：合計21.1km)

**主 催** 和歌山県、和歌山県教育委員会、社団法人和歌山県体育協会

**対 象** 小学校4、5、6年生、中学校1、2、3年生

**チーム編成** 小学生男女各2名、中学生男女各3名



**お問合せ先** 串本町教育委員会  
 教育課社会教育グループ  
 TEL.0735-67-7260



昨年度は8位入賞

教育課よりお知らせ

## スポーツボイス体験教室 参加者募集

音楽に合わせて、全身を動かしながら声を出す運動です。呼吸機能や代謝機能の向上をはかり、リフレッシュしませんか？

ゆったりコースから段階的にレベルアップを目指します。

■日 時：下記日程の午前10時から11時  
 (すべて木曜日/12回)  
 参加できる日だけでもかまいません。

10月	12日・26日	1月	11日・25日
11月	2日・30日	2月	8日・22日
12月	7日・21日	3月	7日・21日

- 場 所：串本町立体育館
- 講 師：森 まりか さん
- 定 員：25名
- 参加費：無料
- 準備物：動きやすい服装  
 上履き  
 飲料  
 汗ふき用タオル



■申込先：串本町教育委員会  
 教育課社会教育グループ  
 TEL.0735-67-7260

